

# 学会長挨拶

第59回群馬県医学検査学会  
学 会 長 高 田 裕 之

第59回群馬県医学検査学会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。  
今学会は県内ブロックの北毛地区が担当となり実行委員会を立ち上げ準備してまいりました。本日、無事に開催に辿り着けたのは技師会の支援は勿論の事、一般演題登録での会員皆様のご協力、参加協賛企業のランチョンセミナー、広告および展示での多大なご協力をいただいた賜物であります。関係各位に心より感謝申し上げます。

今学会のメインテーマ“技”の継承 ～先達から若人に～ の旗印に多くのことが成されてまいりました。一般演題に始まり一般演題に終わる学会にしたことの私の思いが通じたのか演題数は39題と有り余る登録をいただきました。誠にありがとうございました。どうぞ存分に日頃の研究成果をご発表下さい。座長を2名制にしていますので会場を交えた質疑応答でも盛り上がることを期待しております。

情報開示手段としては、ホームページを4月早々から立ち上げ順次UPしてまいりました。これによりプログラム（タイムスケジュール）、一般演題抄録、研究班セミナー、ランチョンセミナーおよび企業情報などを詳細に得ることが可能となりました。

研究班セミナー企画も大きな試みでした。常日頃より各研究班は積極的に活動をされておりますが加えて今学会の趣旨にご賛同とご理解をいただき学会バージョン研究班セミナーを開催することができました。各研究班思い思いのテーマを掲げており楽しみにしております。

公開特別講演は、北関東循環器病院院長の南和友先生をお招きして「心臓血管外科におけるチーム医療の大切さ」と題しご講演をいただきます。臨床検査技師が心臓血管の手術およびその前後で治療方法の選択や手術方式、経過観察に大きく携わっているお話が聞けるものと思っております。

以上、企画と内容は充実していることを確信しております。清々しい深秋の一日、参加される皆様が大いに勉強をされ実り多い学会になることを祈念し挨拶とさせていただきます。